

気持ちによりそうということ

花嶋 美璃亜

私には、四つ歳の離れた兄がいる。兄は、重度心身障がい者だ。兄は今年の春、特別支援学校を卒業し、障がい者施設に通所している。

兄は小さい頃から、食事に関するこだわりがとても強い。食べる物、食べる場所、一緒に食べる相手、そして、音楽がないとご飯がスムーズに食べられない。母はいつも、兄の食事には苦労したと言っている。私も小さい頃、兄の生活に合わせて、旅行の時など、車の中で食事をとったことを覚えている。友達が家族で外食をした話を聞くと、とてもうらやましかった。兄も成長とともに、いろいろな経験をして、外食もできるようになった。家族で外食ができるようになった時は、本当にうれしかった。

施設に通い始めてから二ヶ月位だった頃、  
兄は昔のように、音楽がないと食事がとれな  
くなった。生活環境が変わり、ストレスがた  
まってしまったのだろうか。  
母はよく、ストレス解消には、好きな音楽  
をきいたり、映画をみたりするのが一番だと  
言っている。私も、好きなアイドルのDVD  
やテレビ番組をみるとストレス解消になる。  
兄も昔から音楽が好きだ。兄もきつとスト  
レス解消のために、好きな音楽をききなが  
ら、ゆっくりご飯を食べたいのかもしれない。  
私達は、言葉が話せて、自分の思いを自由  
に相手に伝えることができる。でも、兄のよ  
うに重度の障がいがあり、言葉が話せない人  
は、自由に相手に自分の思いを伝えることが  
できないと思う。だからこそ、行動など少し  
の変化でも気付いてあげることが大切だと思  
う。

今年は、新型コロナウイルスが大流行して、  
ソーシャルディスタンスという言葉をよく耳

にするようになった。兄のように重度の障がいがあり、常に介助者が一緒にいる障がい者以外の軽度の障がい者の人たちにとって、ソーシャルダンスは、困ることが増えただろうと思う。今までは、周りの人に気軽に声をかけ、手助けをしてもらえたと思う。でも今は、今までみたいに気軽に声もかけられなくなつた気がする。困っている人を見かけたら、そつと声をかけ、助けてあげられる、そんな人に私はなりたい。